

2022 年度（令和 4 年度）

第 38 期

事業報告

2022 年（令和 4 年）4 月 1 日 ～ 2023 年（令和 5 年）3 月 31 日

公益財団法人 精密測定技術振興財団

財団運営

新型コロナウイルスの影響が続く中、社会活動は徐々に平常な状態に戻り、産業も回復傾向にあった。工作機械や計測機器の売り上げは前年度に続いて増加し、半導体産業では、2022年後半からのメモリ過剰による投資の抑制の予測もあるが、全体的には好調な状況が続いている。

このような背景の下、財団は、保有する株式の配当や国債の利息収入を含め、当初の事業計画に従って公益事業を実施した。株式配当が増加したため、多くの調査・研究助成を行えた。また、株式配当時期と助成決定時期の関係を見直し、助成額を調整することで、株式配当に対応した助成を実施することが可能となった。2022年度は、この移行期として、昨年度に決定した助成と今年度に決定した助成の2度に分けて調査・研究に対する助成を行った。

区分(1) 調査・研究に対する助成については、昨年度決定分 33 件 6,595 万円、今年度決定分 36 件 9,000 万円の計 69 件 1 億 5,595 万円の過去最高額の助成を達成した。これにより、精密測定技術の振興を図り科学技術及び産業の向上発展に寄与するという定款の事業目的を達成することが出来た。一方、区分(3) 国際交流等促進に対する助成については、新型コロナウイルスの影響が残り、前期実施分は 2 件の助成であったが、後期実施分には 10 件の助成が行われ、回復傾向にあった。

事業運営（概要）

定款第 4 条に基づく四つの事業 区分(1) 調査・研究事業に対する助成、区分(2) 講演会・研究会の開催及び助成、区分(3) 国際交流等促進に対する助成、区分(4) 表彰事業及び会議等を実施した。区分(1)～(3)の事業は、当財団のホームページ、各大学等の助成金窓口への周知及び学会誌・学会 Web での広報を通して公募を行い、助成審査委員による厳正な審査を経て理事会で採択を決定した。

区分(1) 調査・研究事業に対する助成

当年度は助成審査スケジュール変更の移行期であったため、実施した助成は昨年度に審査し採択した分と当年度に審査し採択した分を合わせた額となった。

内訳は、昨年度の応募 75 件の中から 33 件、今年度の応募 66 件の中から 36 件、計 69 件の課題を採択し 1 億 5,595 万円の助成を実施した。

区分(2) 講演会・研究会の開催及び助成

区分(1)と同様、2事業年度分の助成を実施したが、内訳は、昨年度の応募4件の中から4件、今年度の応募も4件の中から4件、計8件600万円であった。また、Boxシステムによるオンライン講習会「難削材とその加工技術 - 加工の基礎から知能化まで」の開催へ30万円の助成を実施した。地域商工会との共催による講演会は、武蔵野商工会議所及び三鷹商工会との共催で「DXの取組みとは何か？／生産プロセスにおける取り組みと自動車のEV化について」と題して、武蔵野商工会議所は会議室参加と各所Zoomによるオンライン聴講の併用で実施し、三鷹商工会は実開催で実施した。

区分(3) 国際交流等促進に対する助成

当年度の前期実施分は、昨年度に続き新型コロナウイルス感染拡大の影響で国際会議はオンライン開催だったため、参加費・参加のため必要な物品等の購入費用への助成を行ったが、後期実施分は、渡航制限の解

除により現地での参加が可能となり、渡航費等の助成を行うことができた。前期・後期実施分合わせて 21 件の応募の中から 12 件を採択、252 万円の助成を実施した。

区分(4) 表彰事業に対する助成

精密測定技術の向上、振興に寄与した技術者への表彰事業として、精密工学会及び品質工学会より推薦された候補者を当財団の助成審査委員会で審査し、精密工学会高城賞及び(財)精密測定技術振興財団品質工学賞を贈呈した。品質工学賞の論文賞・発表賞はオンラインで開催された品質工学会発表大会の贈賞式にて贈呈され、精密工学会高城賞は精密工学会春季大会の贈賞式にて贈呈された。助成額は合計 113 万円であった。

以上、2022 年度（令和 4 年度）四つの事業、区分(1)～(4)の総合計は、1 億 6,594 万円であった。

理事会・評議員会の開催

理事会（2回）

- 理事会 2022 年（令和 4 年）5 月 25 日 東京ガーデンパレス 平安
 - ・2021 年度（令和 3 年度）事業報告及び財務諸表の件
 - ・2022 年度（令和 4 年度）区分(1)助成額の決定について ・顧問の設置及び任期の件
 - ・定時評議員会招集の件

- 理事会 2023 年（令和 5 年）3 月 6 日 九段会館テラス 藤
 - ・記念講演会開催への助成の件 ・記念誌の発行の件 ・常務理事の報酬の件
 - ・2023 年度（令和 5 年度）事業計画書、収支予算書の件 ・臨時評議員会招集の件
 - ・(株)東京精密株主総会の議決権行使の件

評議員会（2回）

- 定時評議員会 2022 年（令和 4 年）6 月 15 日 東京ガーデンパレス 天空
 - ・2021 年度（令和 3 年度）事業報告及び財務諸表の件 ・理事・評議員選任の件

- 臨時評議員会 2023 年（令和 5 年）3 月 22 日 九段会館テラス 柳
 - 報告事項：2023 年度（令和 5 年度）事業計画書、収支予算書の件、理事会の決議事項について等

委員会の開催

助成審査委員会（メール審査含め 6回）

- 第 1 回助成審査委員会 2022 年（令和 4 年）7 月 19 日 伊藤国際学術研究センター・ギャラリー1
 - ・委員長、副委員長の選任・公募・審査のスケジュール変更について
 - ・2022 年度（令和 4 年度）採択募集要項、助成審査の方針について
- 第 2 回助成審査委員会 2022 年（令和 4 年）12 月 21 日 フォーレスト本郷・パンケットルーム
 - ・2022 年度（令和 4 年度）採択 助成審査 ・2023 年度（令和 5 年度）の公募について
- メール審査・2022 年度品質工学賞発表賞の審査 2022 年（令和 4 年）8 月 9 日

- メール審査・国際交流等促進事業の審査 当年度後期実施分 2022年（令和4年）9月2日
- メール審査・2022年度高城賞の審査 2023年（令和5年）2月21日
- メール審査・国際交流等促進事業の審査 2023年度前期実施分 2023年（令和5年）2月23日

運営委員会（2回）

- 第1回運営委員会 2022年（令和4年）12月6日 伊藤国際学術研究センター 小会議室1
 - ・2022年度（令和4年度）決算見込について
 - ・2023年度（令和5年度）助成枠について

- 第2回運営委員会 2023年（令和5年）2月16日 財団事務局拠点 Zoom アプリによるオンライン開催
 - ・40周年記念講演会について
 - ・記念誌発行の業者選定について
 - ・2023年度（令和5年度）事業計画・予算について

2022年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する「事業報告の内容を補足する重要な事項」がなかったため「附属明細書」については作成しなかった。

助成事業研究成果概要一覧（実施した助成事業の研究テーマ・助成対象者を以下に記載する）

区分（1）調査・研究事業に対する助成

助成対象期間：2022年（令和4年）4月～2023年（令和5年）3月

研究テーマ	助成対象者
1-1 ボロン酸修飾高分子材料を用いた病原性細菌の選択的検出と応用展開	早稲田大学理工学術院先進理工学部 講師 土戸 優志
1-2 抗がん剤搭載ナノカプセルの「硬さ」の精密制御とがん細胞への取り込み挙動の観察	東京理科大学先進工学部マテリアル 創成工学科 講師 上村 真生
1-3 超音波測定を用いた工作物表面からの深穴真直度の測定技術開発	有明工業高等専門学校創造工学科 准教授 篠崎 烈
1-4 加工面のその場計測による精密ダイヤモンドレーザ研磨	東京大学工学系研究科 助教 吉崎 れいな
1-5 簡便で高感度なディスプレイ型匂いバイオセンサの開発	東京大学先端科学技術研究センター 特任研究員 祐川 侑司
1-6 超短パルスレーザによる金属粒子析出過程の観察手法の確立	東京農工大学工学府 特任助教 小玉 脩平
1-7 全組織・全身における生体分子挙動の3次元分布精密測定	東京大学大学院工学系研究科 助教 齋藤 雄太郎
1-8 スクレオソームの動的構造変換の1分子イメージング技術の開発	東京電機大学理工学科 生命科学系 助教 高橋 俊介
1-9 低温下での分子ダイナミクス解明に向けた冷却分子の生成	電気通信大学レーザー新世代研究センター 助教 岩國 加奈

研究テーマ	助成対象者
1-10 多色軟 X 線による非球面大開口数ミラー形状計測法の開発	東京大学物性研究所 准教授 木村 隆志
1-11 X 線 CT データの微分値平滑化による局所的外乱に頑健な高精度表面抽出法の開発	東京都立大学システムデザイン学部 准教授 長井 超慧
1-12 デュアルコム分光干渉法と両面干渉計による厚さ測定を用いた固体群屈折率の超高精度決定	産業技術総合研究所計量標準総合センター 研究グループ長 清水 祐公子
1-13 磁気スタンプ法による磁気スケールの高分解能・高スループット着磁	東京工業大学科学技術創成研究院 教授 進士 忠彦
1-14 微粒子の性能を最大限に発揮させるための高温場における微粒子特性の精密測定	産業技術総合研究所エネルギー・環境領域 研究員 堀口 元規
1-15 傾斜利用ブリルアン光相関領域法による歪・温度分布の精密測定	芝浦工業大学工学部情報通信工学科 助教 李 ひよん
1-16 高圧ガス圧下における迅速熱分析手法の開発	産業技術総合研究所エネルギー・環境領域 主任研究員 室町 実大
1-17 精密試料導入法による気相軟 X 線発光分光法の開拓	東京大学物性研究所 特任研究員 倉橋 直也
1-18 SEM 像の定量的解釈を目指した角度・エネルギー分解二次電子検出器開発	産業技術総合研究所物質計測標準研究部門 主任研究員 熊谷 和博
1-19 薄膜による高速熱測定技術の開発と、60 テスラ強磁場極限での新粒子の探索	東京大学物性研究所 准教授 小濱 芳允
1-20 RNA の超高精度三次元空間マッピング技術の開発	国立がん研究センター 分野長 吉見 昭秀
1-21 機械式血液循環装置使用に伴う赤血球損傷と血小板活性に対する高精度計測診断法の研究開発	芝浦工業大学システム理工学部 准教授 渡邊 宣夫
1-22 同位体ラベリング計測と逆解析に基づく高温電極・触媒内局所反応速度測定法の開発	東京工業大学工学院システム制御系 助教 長澤 剛
1-23 電気化学センサ用磁性バイオ素子の開発	東京工業大学科学技術創成研究院 助教 菅野 佑介
1-24 タンパク質の新しいレドックス制御現象を解析可能な精密測定技術の確立	東京都健康長寿医療センター研究所 研究員 梅澤 啓太郎
1-25 免疫細胞を組み込んだマイクロ腫瘍組織モデルにおけるナノ薬剤評価	立教大学理学部化学科 准教授 佐々木 直樹
1-26 生体力学計測に向けたナノ粒子間界面の光場・力学場制御	東京大学大学院工学系研究科 准教授 松井 裕章

研究テーマ	助成対象者
1-27 閉ループ制御による共振周波数の安定化機構を有する超小型 MEMS 重力計の研究	早稲田大学理工学術院 准教授 池橋 民雄
1-28 超純水レベルの低電気伝導率絶対測定技術の開発	産業技術総合研究所計量標準総合センター 研究員 日比野 佑哉
1-29 定量的データに基づく膝装具機能の分析・評価及び設計	産業能率大学情報マネジメント学部 講師 中野 耕助
1-30 圧力標準の高度化のための円柱・円筒形状に特化した超精密測定機の開発	産業技術総合研究所計量標準総合センター 研究員 武井 良憲
1-31 XRD-DIC ハイブリッド法を用いた応力分布・ひずみ分布同時測定法の開発	青山学院大学理工学部機械創造工学科 准教授 蓮沼 将太
1-32 超高精度 2 軸回転磁歪計測システムによる回転対称性の破れた磁気状態の探索	電気通信大学基盤理工学専攻物理工学プログラム テニユアトラック助教 池田 暁彦
1-33 オプトメカ結合型調和振動子による標準量子限界の超越	東京工業大学理学院物理学系 特任講師 原田 健一

助成対象期間：2023 年（令和 5 年）1 月～2024 年（令和 6 年）3 月

研究テーマ	助成対象者
1-34 周波数応答データ駆動による反復学習制御と精密位置決めへの展開	東京大学大学院工学系研究科 講師 大西 亘
1-35 細胞・細胞群の力学場をその場計測するためのリポソーム型力覚センサ	慶應義塾大学理工学部機械工学科 准教授 宮田 昌悟
1-36 静的光散乱法によるマイクロ流路内微粒子のオンチップ計測	東京工業大学科学技術創成研究院 日本学術振興会特別研究員 PD 増井 周造
1-37 温度応答性 3D プリントゲルを利用するサイズ計測定量分析技術の開発	東京薬科大学薬学部 助教 森岡 和大
1-38 測定環境の影響を受けない微小流量計測の高精度化に資する微細管内径の光学計測手法	産業技術総合研究所計量標準総合センター 主任研究員 CHEONG Kar-Hooi
1-39 超音速マイクロ粒子の衝突速度と衝撃力の同時計測	中央大学理工学部 教授 米津 明生
1-40 インポリュート歯車歯面勾配の光学的測定に基づく検査法に関する研究	東京大学生産技術研究所 教授 吉岡 勇人
1-41 超音波を用いたポアソン比の非破壊精密測定に基づく軟骨の保水性評価	産業技術総合研究所生命工学領域 主任研究員 新田 尚隆

研究テーマ	助成対象者
1-42 フォトリフラクティブ液晶を利用したレーザー超音波精密計測システム	東京理科大学理学部 教授 佐々木 健夫
1-43 大規模自然災害観測に用いる超低周波音計測機器の周波数特性評価装置の開発	産業技術総合研究所計量標準総合センター 研究員 平野 琴
1-44 生体埋め込み型ハイドロゲルマイクロデバイスによる高感度超音波センシング	東京農工大学工学研究院 准教授 倉科 佑太
1-45 脳機能の光トモグラフィー解析を可能にする生体親和性光ファイバー	東京農工大学工学部 特任助教 内田 紀之
1-46 抗体改変技術により偽陽性を低減させた高精度エクソソーム検出法の開発	群馬工業高等専門学校物質工学科 助教 安西 高廣
1-47 形状回復機能を有するカーボンナノチューブ複合材の開発と構造 - 電気特性および30GHz帯平面アンテナ化に関する研究	東京都立大学システムデザイン研究科 准教授 鳥阪 綾子
1-48 腫瘍細胞の精密測定を実現する革新的な細胞分離分析法の開発	慶應義塾大学薬学部 准教授 長瀬 健一
1-49 超短パルスレーザ帯域圧縮のための新しい分散フィルタの開発と高温・高圧場CARS測定への適用	東京農工大学大学院工学研究院 教授 亀田 正治
1-50 内部光電子放出を利用したワイドギャップ半導体 GaN の誘電率の精密測定	東京大学大学院工学系研究科 助教 前田 拓也
1-51 アクチュエータの周波数情報に基づくセンサレス力推定技術の開発	東京理科大学工学部 助教 永野 健太
1-52 時間領域サーモフレクタンス法の低温測定技術の開発	東京都立大学理学研究科 特任助教 上治 寛
1-53 静電力を利用した高精度な微小力計の開発	産業技術総合研究所計量標準総合センター 主任研究員 朱 俊方
1-54 中性子スピン干渉回折法に基づく高精度ひずみ・応力測定法の開発	東京大学物性研究所 助教 小田 達郎
1-55 歯質透過性イメージング技術を用いた三次元形状復元による初期エナメル質う蝕の測定	東京歯科大学歯学部保存修復学講座 講師 半場 秀典
1-56 生体内情報を精密にモニタリングするリンクリングハイドロゲル電極の開発	東京理科大学先進工学部 准教授 麻生 隆彬
1-57 質感の定量化のためのエリアセンサによる表面構造評価システムの開発	東京都立産業技術研究センター 上席研究員 海老澤 瑞枝
1-58 深層学習を用いたワイヤ加工機のスマートインプロセス計測	佐世保工業高等専門学校 教授 坂口 彰浩

研究テーマ	助成対象者
1-59 連続体マニピュレータと電磁式位置計測技術の統合による新たな経腸栄養チューブ挿入法の開発	早稲田大学情報生産システム研究センター 助教 大澤 啓介
1-60 レーザー・電気計測・光電子顕微鏡を融合させた電子デバイスの自動非破壊不良検査システムの構築	東京大学物性研究所 特任研究員 藤原 弘和
1-61 糖鎖認識機構の解明に向けた冷却イオントラップ分光技術の開発	東京工業大学理学院化学系 助教 平田 圭祐
1-62 分子回転運動の実時間観測による分子構造の精密測定に向けた超音速パルス分子線への光スポット位置追従手法の開発	東京大学大学院総合文化研究科 助教 深堀 信一
1-63 電気化学的手法を用いた幹細胞安全性管理用高感度バイオセンサの開発	東京都市大学理工学部 准教授 秀島 翔
1-64 時空間マルチスケール計測による大脳皮質の情報処理機構の解明	東京大学大学院医学系研究科 助教 太田 桂輔
1-65 超小型人工衛星用エンジンの6成分推力測定精度の向上	東京大学大学院新領域創成科学研究科 准教授 小泉 宏之
1-66 フェムトメートルオーダーの超精密変位計測技術の確立	慶應義塾大学理工学部 教授 渡邊 紳一
1-67 稀釈操作が不要なナノ粒子スラリーの浸透圧精密測定装置及び粒子径算出プログラムの開発	法政大学生命科学部 教授 森 隆昌
1-68 ミリメートルより小さい生体組織の構造・機械的特性・変形特性・生体応答を一括計測する	東京女子医科大学医学部生化学講座 講師 田中 正太郎
1-69 ZPETC法を用いた送り駆動系の精密輪郭制御	東京電機大学理工学部機械工学系 教授 山崎 敬則

区分(2) 講演会・研究会の開催及び助成

年 月 日	2023年(令和5年)1月16日～19日
2-1 事業名	アジア南太平洋設計自動化会議 2023
場 所	日本科学未来館(東京)・国内外合計365名(オンライン参加含む)
助成対象者	東京都市大学 理工学部 電気電子通信工学科 講師 瀬戸 謙修

年 月 日	2022年(令和4年)7月11日～15日
2-2 事業名	2022 IEEE/ASME International Conference on Advanced Intelligent Mechatronics (AIM2022)
場 所	ロイトン札幌 参加人数325人名(現地参加者94人)うち国外からの参加者は25カ国 212人
助成対象者	中央大学 理工学部 精密機械工学科 教授 新妻 実保子

年 月 日	2022年（令和4年）7月3日～7日	
2-3 事業名	International Symposium on Flexible Automation 2022 (ISFA 2022)	
場 所	慶應義塾大学日吉キャンパス 参加人数：116名	
助成対象者	東京電機大学工学部・機械工学科 教授 松村 隆	

年 月 日	2022年（令和4年）11月28日～12月2日	
2-4 事業名	19th International Conference on Precision Engineering (ICPE2022)	
場 所	奈良県コンベンションセンター 参加人数：422名	
助成対象者	東京大学 先端科学技術研究センター 教授 高橋 哲	

年 月 日	2023年（令和5年）9月9日～11日 予定	
2-5 事業名	Joint Conference on 14th France-Japan and 12th Europe-Asia Congress on Mechatronics(Mechatronics2023) &The 9th Asia International Symposium on Mechatronics (AISM 2023)	
場 所	慶應義塾大学 理工学部 矢上キャンパス 参加人数：120名 予定	
助成対象者	慶應義塾大学・理工学部・システムデザイン工学科 教授 村上 俊之	

年 月 日	2023年（令和5年）7月9日～14日 予定	
2-6 事業名	IFAC World Congress 2023, Yokohama, JAPAN (IFAC WC 2023)	
場 所	パシフィコ横浜 参加人数：3,500名 予定	
助成対象者	東京工業大学・工学院・システム制御系 教授 井村 順一	

年 月 日	2023年（令和5年）11月29日～12月1日 予定	
2-7 事業名	第13回 環境調和型設計とインバースマニュファクチャリングに関する国際シンポジウム EcoDesign2023	
場 所	奈良県コンベンションセンター 参加人数：300名 予定	
助成対象者	早稲田大学創造理工学 経営システム工学科 教授 福重 真一	

年 月 日	2023年（令和5年）11月9日～11日 予定	
2-8 事業名	第61回日本人工臓器学会	
場 所	ホテル イースト 21 東京 参加人数：1,000名 予定	
助成対象者	東京大学大学院工学系研究科 准教授 古川 克子	

年 月 日	2022年（令和4年）12月13日10時～27日17時	
2-9 事業名	第426回講習会 「難削材とその加工技術-加工の基礎から知能化まで」	
場 所	Box オンライン開催 参加人数 42名	
助成対象者	公益社団法人 精密工学会	《共催》(財)精密測定技術振興財団

年 月 日	2022年（令和4年）10月6日	
2-10 事 業 名	講演会「生産プロセスにおける DX の取り組み 自動車の電動化に伴う関連技術の課題と方向性」 講師：慶應義塾大学理工学部システムデザイン工学科 教授 青山 英樹	
場 所	武蔵野商工会議所 5階第1・2会議室及び各所オンライン(ZOOM)聴講 参加人数 16名	
助成対象者	武蔵野商工会議所	《共催》(財)精密測定技術振興財団

年 月 日	2023年（令和5年）2月3日	
2-11 事 業 名	講演会「生産プロセスにおける DX の取り組み 自動車の電動化に伴う関連技術の課題と方向性」 講師：慶應義塾大学理工学部システムデザイン工学科 教授 青山 英樹	
場 所	三鷹商工会館 4階 参加人数 33名	
助成対象者	三鷹商工会	《共催》(財)精密測定技術振興財団

区分（3）国際交流等促進事業に対する助成

A 国際会議参加に対する助成

年 月 日	2022年（令和4年）6月7日～11日	
3A-1 事業名	CARS2022 における口頭発表、情報収集	
場 所	東京虎ノ門ヒルズ森タワー 現地/オンラインのハイブリッド開催	
助成対象者	電気通信大学情報理工学研究科 機械知能システム学専攻 修士2年 藤林 巧	

年 月 日	2022年（令和4年）6月7日～11日	
3A-2 事業名	CARS2022 における口頭発表、情報収集	
場 所	東京虎ノ門ヒルズ森タワー 現地/オンラインのハイブリッド開催	
助成対象者	電気通信大学情報理工学研究科 機械知能システム学専攻 修士1年 武笠 杏樹	

年 月 日	2022年（令和4年）9月29日～10月7日	
3A-3 事業名	The 2nd Modeling, Estimation and Control Conference (MECC 2022)における口頭発表・情報収集	
場 所	United States of America, Jersey City	
助成対象者	東京大学大学院工学系研究科電気系工学専攻 博士3年 前 匡鴻	

年 月 日	2022年（令和4年）11月12日～15日	
3A-4 事業名	Neuroscience2022 におけるポスター発表	
場 所	アメリカ・サンディエゴ	
助成対象者	芝浦工業大学・システム理工学部・生命科学科 奨励研究員 加藤 優吾	

年 月 日	2022年（令和4年）10月18日～21日	
3A-5 事業名	GCCE2022 における口頭発表、情報収集	
場 所	大阪府豊中市：千里ライフサイエンスセンター	

助成対象者	電気通信大学情報理工学研究科 機械知能システム学専攻 修士2年 山田 望結
-------	---------------------------------------

年 月 日	2022年(令和4年)11月14日～19日
3A-6 事業名	The 9th International Conference of ASPEN (ASPEN2022)における口頭発表, 情報収集
場 所	シンガポール・シンガポール
助成対象者	東京都立大学大学院 システムデザイン研究科 機械システム工学域 博士課程前期 遠藤 真拓

年 月 日	2022年(令和4年)11月28日～12月2日
3A-7 事業名	The 19th International Conference on Precision Engineering (ICPE 2022) 口頭発表
場 所	奈良県 Nara Prefectural Convention Center, Nara, Japan
助成対象者	東京電機大学大学院工学研究科先端機械工学専攻 修士課程2年 瀧島 玖実

年 月 日	2022年(令和4年)11月28日～12月2日
3A-8 事業名	The 19th International Conference on Precision Engineering (ICPE 2022) 口頭発表
場 所	奈良県 Nara Prefectural Convention Center, Nara, Japan
助成対象者	東京電機大学大学院工学研究科先端機械工学専攻 修士課程1年 河崎 隼作

年 月 日	2023年(令和5年)2月8日～11日
3A-9 事業名	2022 MRS Fall Meeting におけるポスター発表, 情報収集
場 所	アメリカ、マサチューセッツ州ボストン
助成対象者	東京工業大学 物質理工学院 材料系 修士課程2年 山崎 唯衣

年 月 日	2022年(令和4年)11月26日～12月8日
3A-10 事業名	The 2nd Modeling, Estimation and Control Conference における口頭発表、及び技術交流
場 所	Jersey City, New Jersey, United States
助成対象者	東京大学大学院工学系研究科電気系工学専攻 修士課程 弦本 健太郎

年 月 日	2022年(令和4年)10月9日～15日
3A-11 事業名	2022 IEEE International Ultrasonics Symposium (IUS)におけるポスター発表
場 所	イタリア共和国、ヴェネツィア
助成対象者	東京農工大学 工学府 物理システム工学専攻 修士1年 坂倉 佑紀

年 月 日	2022年(令和4年)10月9日～15日
3A-12 事業名	IEEE Internation Ultrasonics Symposium 2022 における口頭発表
場 所	オンライン出席 (Venice, Italy)
助成対象者	上智大学 理工学部・情報理工学科 准教授 炭 親良

区分(4) 表彰事業に対する助成

年 月 日	2023年(令和5年)3月15日
4-1 事業名	精密工学会高城賞 第25回(通算第33回)
	1. Multimode vibration cutting” - A new vibration cutting for highly-efficient and highly-flexible surface texturing 【Precision Engineering Vol.72】 Hongjin Jung (名古屋大), Takehiro Hayasaka (同左), Eiji Shamoto (同左), Hiroaki Ishii (多賀電気), Takashi Ueyama (同左), Seiji Hamada (同左)
	2. Novel highly-efficient and dress-free polishing technique with plasma-assisted surface modification and dressing 【Precision Engineering Vol.72】 Rongyan Sun (大阪大), Atsunori Nozoe (ミズホ), Junji Nagahashi (同左), Kenta Arima (大阪大), Kentaro Kawai (同左), Kazuya Yamamura (同左)
場 所	贈賞式: 精密工学会春季大会 東京理科大学 葛飾キャンパス 図書館大ホール
備 考	精密工学会推薦 2022年1月~12月発行 精密工学会誌及び Precision Engineering 誌掲載論文より

年 月 日	2022年(令和4年)6月24日
4-2 事業名	(財)精密測定技術振興財団品質工学賞 第30回 論文賞 ※学会誌掲載 Vol. No.
	金賞: プロセス機能展開表を活用した光学ガラスの溶解技術開発 Vo.29 No.1 佐藤幸太※1、嘉指伸一※2 (※1光ガラス(株) 正会員、※2嘉指技術品質研究所 正会員)
	銀賞: 差圧特性の機能性評価による医療用正流・逆流バルブの技術開発 Vo.29 No.4 木下秀明※1、山元翔太※2、小林正彦※2、嘉指伸一※3 (※1テルモ(株) 正会員、※2テルモ(株)、※3嘉指技術品質研究所 正会員)
	銀賞: 機能性評価を導入した一般購入部品購買改善に向けての活動 Vo.29 No.2 畠山鎮※1、中村高士※1、麴谷幸久※1、岩脇正芳※1、岩下啓輔※2、酒井克希※2、松村悟志※2、松島英征※1、(※1YKK(株) 正会員、※2YKK(株))
場 所	贈賞式: 第30回品質工学会 研究発表大会 オンライン開催
備 考	品質工学会審査部会 推薦 品質工学会誌「品質工学」2020・2021年度掲載論文 全17編より

年月日	2022年(令和4年)6月23日・24日
事業名	(財)精密測定技術振興財団品質工学賞 第30回 発表賞
	金賞: ニオイセンサを用いた MT 法によるマスクメロンの熟成モニタリング (発表 No.31) 小黒 諒*1, 越水重臣*1, 小杉俊介*2, 鈴木健志*2 (*1 産業技術大学院大学 正会員, *2 I-PEX(株))
	銀賞1: 機能窓法によるロータリ切削工具の機上回転放電成形条件の最適化 (発表 No.18) 杉本里駆*1, 二ノ宮進一*1, 山田庸二*2, 岩井 学*3 (*1 日本工業大学 正会員, *2 日本工業大学, *3 富山県立大学)
	銀賞2: エンジン外回り部品の開発工程改善 -応力ロバストアイテムの開発- (発表 No.45) 高倉裕太朗*1, 箱本健次郎*2, 城 一樹*2, 衛藤洋仁*1 (*1 いすゞ自動車(株) 正会員, *2 いすゞ自動車(株))
	銀賞3: 金型製作検討におけるエキスパートの思考の予測手法開発 (発表 No.36) 有松直弥*1, 白川真也*1, 川口元志*1, 久保祐貴*2 (*1 マツダ(株) 正会員, *2 マツダ(株))
場 所	贈賞式: 第30回品質工学会 研究発表大会 オンライン開催
備 考	第30回品質工学研究発表大会2日間の発表より